

英語の学習 第9学年 担当：山本

英語は異文化理解や世界の人々とのコミュニケーションの道具です。習得するためには、積極的に授業に参加し、たくさん英語を発話することが最も大切です。特に9年生では、①受験に向けて長文になれる ②受験に向けて文章をたくさん書く ③英語を通して、いろいろな国の文化を知る、という3つを中心目標とします。

ア 授業の約束

- ・授業が始まる前に、教材をすべて机の上に出しておくこと。忘れ物は、授業が始まる前に言う。
- ・英語の授業で使う教材は、教科書、ノート、「めきめき English」、ファイルの5点セット。宿題が出た場合は、自分で判断して持ち帰る。
- ・提出物は、期限を守る。

イ 英語の授業で「大切なこと」

- ・たくさん英語を発話すること。
- ・先生の指示をしっかりきくこと。
- ・特に復習を大切にすること。

ウ 受験に向けて

- ・毎授業の始まりに、「長文ドリル」を使って、長文に慣れていきます。
- ・夏休みは、3年間の文法の復習を「3年間の総整理問題集」をつかっておこないます。
- ・3学期からは、「3年間の総整理問題集」を使って、主に受験対策をしていきます。
- ・入試問題そっくりテストを1月後半から行い、入試問題に慣れていきます。

エ ノートの取り方、作り方

- ・英語の授業は、基本的にプリントを使って進めるので、先生の言葉などメモをとるとよいでしょう。
- ・家庭学習用として、ノートの作成があるので、授業が終わるごとに取り組みましょう。

オ 家庭学習の仕方

- ・英語では、予習より「復習」を中心に家庭学習をするとよいでしょう。家庭学習としては、その日の授業で学習した、教科書のページのノートを作りましょう。
- ・授業で学習した教科書の音読を最低10回行いましょう。
- ・授業でやった、めきめき English の問題を何度も解いてみましょう。

カ 学習の評価について

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・定期テスト・単元テスト・パフォーマンステスト・スピーキングテスト・音読・リスニングテスト	<ul style="list-style-type: none">・定期テスト・パフォーマンステスト・スピーキングテスト・リーディングテスト・作品の作成・プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none">・単元のまとめレポート・定期テストレポート・パフォーマンスレポート・音読・提出物の取り組み状況

キ その他

- ・クラス単位で授業を行います。
- ・音読やプレゼンテーションでクロムブックを活用します。その際、文字入力の予測変換を切ります。